清流のほとり

みどり病院／すこやか診療所　広報誌

□発行責任者／病院長　松井　一樹
□編　　集／みどり病院管理委員会
□発　　行／2022年1月1日　第66号

２０２２年「新年明けましておめでとうございます」

皆様、新年明けましておめでとうございます。

一昨年の正月に襲来した新型コロナウイルスは、GOTO トラベルやオリパラなどの失政を乗り越えて、ようやく落ち着きを見せ始めています。しかし、ヨーロッパでは、「第４波」に見舞われて大変なことになっており、日本に襲来するのか、第６波は来るのか、とても不安です。

みどり病院も、当初より新型コロナ対応を進めてきました。検査・診断・治療・発熱外来・感染対策・ワクチン接種、などなど刻々と変わる様々な状況に対応するため、病院としての打ち合わせを毎週欠かさず開催し、回数は１００回を超えました。報道を見ても、医療・介護分野でのクラスターは収束に膨大な時間と労力が必要となります。岐阜勤医協としての構えは、**「COVID-19 は誰にでも感染する機会はあり、避けられない。予防接種をしていても油断できない。しかし、クラスターが発生しないように対応していく」**です。法人職員にも散発の陽性者は発生しましたが、院内・地域への感染拡大は防げています。これから行われる**3回目の追加接種**についても、全力で取り組みます。

さて、今、この日本の医療には、もう一つ由々しき問題が発生しています。それは、**「医療用の薬が手に入らない」**です。病院として本当に困っています。薬の生産・流通過程は複雑で、理解するのが厄介ですが、その理由は**「国がジェネリック医薬品を促進、値段を安く設定。ジェネリックメーカーは増えたが、メーカーによっては品質管理がずさんで、規程通りの生産工程を守っていなかった。調査・改善命令が出される。利益が出ないので、自主回収、薬の生産中止」**です。足りているはずだ、偏在しているだけだともされていますが、国が解消に乗り出す気配はいっこうにありません。コロナ対応といい、薬事行政といい、失政続きです。まったく、「いい加減にせいよ！！」と叫びたい気持ちです。いや、叫びます。

そんな時代ですが、いよいよ、**新病院建設**です。秋には建築工事が始まります。**環境にやさしい病院、災害に強い病院、地域のよりどころとなる病院**、などなど、期待いっぱいの新病院建設です。とても楽しみですが、ここのところ建設費が高騰しており、他の病院では 1.5 倍に跳ね上がったとも聞いております。ぜひ、お金の面でも、ご協力よろしくお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

2022年元旦
みどり病院
院長　松井　一樹

み　ど　り病院　〒501-3113 岐阜市北山 1-14-24　TEL(058) 241-0681
すこやか診療所　〒501-3113 岐阜市北山 1-13-11　TEL(058)243-0791
ホームページ　https://gifu-min.jp/midori/